

# 平成27年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成28年 4月13 日

研究・研修課題名	災害派遣医療チーム (DMAT) 研修 (厚生労働省)
研究・研修組織名 (所属)	災害対策ワーキンググループ
研究・研修責任者名 (所属)	整形外科 教授 内尾祐司
共同研究・研修者名 (所属)	看護部 田仲翔太, 救命救急センター 准教授 瀧波慶和

## 目的及び方法、成果の内容

### ①目 的

本院では、災害救助法及び政令等に基づく「災害救助災害派遣要項」を定め、島根県知事の要請又は学長及び附属病院長の決定による医療救援活動隊として救護班(6班)を組織しており、本研修受講は、各種災害発生時に機動性をもった災害派遣医療チームの体制の確保を目的とする。

### ②方 法

厚生労働省が兵庫県災害医療センターで実施された、平成27年度災害派遣医療チーム(DMAT)研修西第4回に看護師1名が、また西第9回に医師1名がそれぞれ個人枠で参加した。

### ③成 果

平成17年度から受講しているが、参加者からは DMAT の必要性和責務を痛感したとの報告がなされている。また隊員となった受講者は自覚を持ち、訓練や実際の災害発生時に大変活躍している。

また高度外傷センターの設置に伴いDMAT登録隊員は、今年度の受講者を合わせて医師6名、看護師4名、調整員(薬剤師)2名となり、2チーム(1チーム:医師1名、看護師2名、調整員1名)編成が容易となった。統括DMATの高度外傷センター長である渡部教授が加わったことで、更に機動性とチームワークが取れてきている。

今後は南海トラフに備え、看護師、調整員の人数を増員し、4~5チーム編成が可能とすることを目標としている。

### 【追記】

先日の熊本地震にも1次隊、2次隊として出動したが、1次隊の到着が全国でもかなり早く、到着順に割振られる副本部長に本院医師らが指名された。